

授業科目 機能解剖学 II

【担当教員名】 永野 康治	対象学年	4	対象学科	スポ
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎				

【概要・一般目標：GI0】

解剖学の内、運動器（筋・骨格）に焦点を当て、講義を行う。本授業では身体の各部位ごとに筋形状、筋機能、神経支配について学習し、機能解剖に関する理解を深める。更に、歩行や走行、スポーツ動作における筋・骨格の役割について学習し、スポーツ外傷・障害の発生要因や、パフォーマンスの向上につながる要因についても学習する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 各部位の筋形状、筋機能、神経支配について理解する。
2. 運動器とスポーツ外傷・障害との関連やスポーツ動作との関連を理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	筋の形状と機能 上肢 1	1	講義
2	筋の形状と機能 上肢 2	1	講義
3	筋の形状と機能 下肢 1	1	講義
4	筋の形状と機能 下肢 2	1	講義
5	筋の形状と機能 体幹	1	講義
6	筋の形状と機能 まとめ	1	講義, 理解度確認テスト
7	身体の神経支配 上肢	1	講義
8	身体の神経支配 下肢	1	講義
9	歩行・ランニングの運動学 1	2	講義
10	歩行・ランニングの運動学 2	2	講義
11	スポーツ外傷・障害と関節機能 上肢 1	2	講義
12	スポーツ外傷・障害と関節機能 上肢 2	2	講義
13	スポーツ外傷・障害と関節機能 下肢 1	2	講義
14	スポーツ外傷・障害と関節機能 下肢 2	2	講義
15	定期試験	2	試験

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	公認アスレティックトレーナー専門科目 テキスト2：運動器の解剖と機能	財団法人 協会	日本体育 財団法人 協会	
参考書	筋骨格系のキネシオロジー	嶋田智明	医歯薬出版	2005・10,000円
その他の資料				

【評価方法】

定期試験、理解度確認テスト

【履修上の留意点】